

## II. 2021年日本透析医学会統計調査報告書 調査結果と考察

### 第1章 2021年慢性透析療法の現況

#### 1. 施設動態

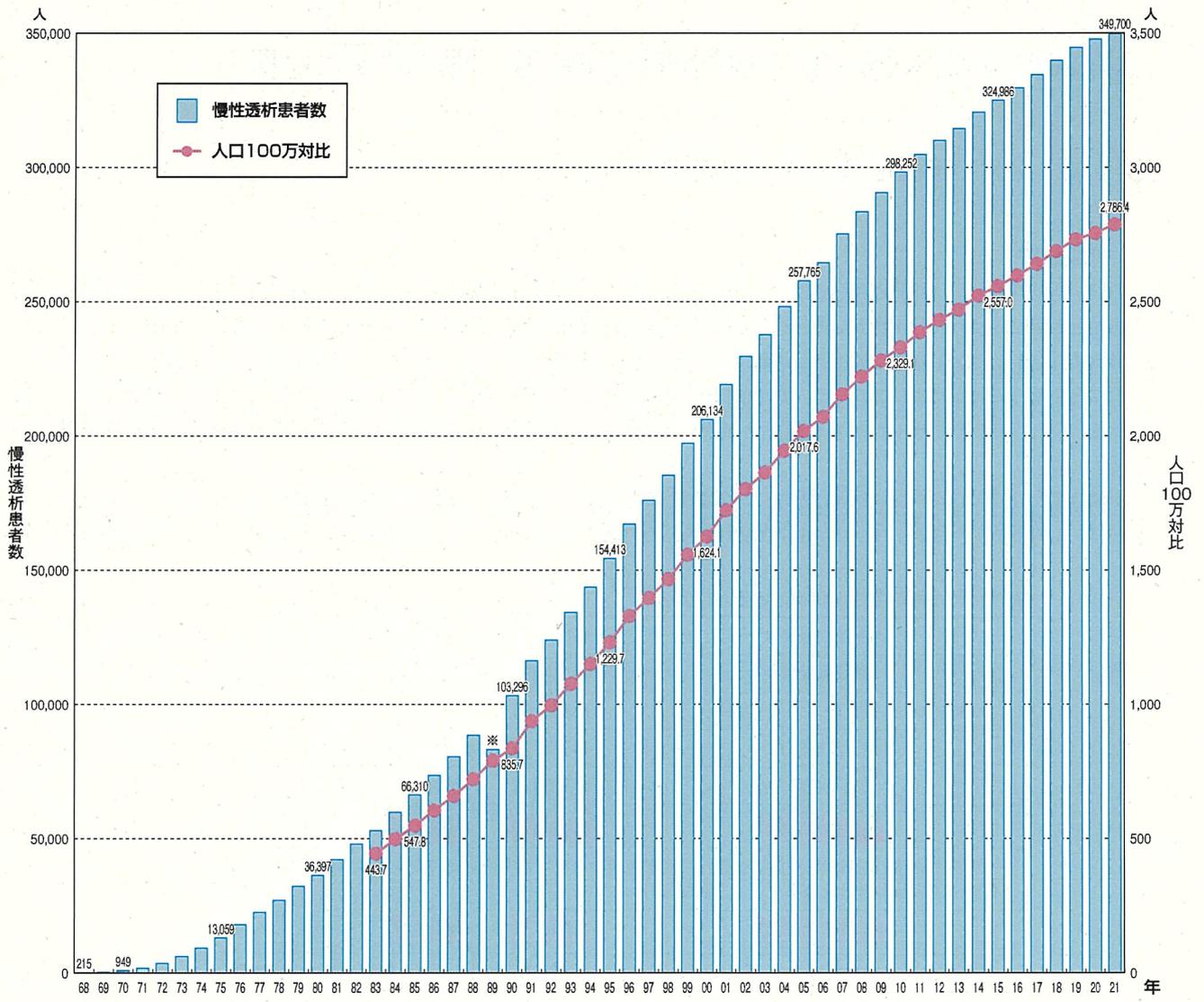
2021年の調査は、全国4,508施設を対象に実施された。施設調査票は4,454施設から回答が得られ、回答率は98.8%と例年と変わらない数字であった。施設調査票の回答施設数は2015年にいったん減少したが、2016年からは再度増加に転じ、2021年は2020年と比較し17施設増、0.4%増であった（表1）。患者調査票は4,251施設から回答が得られ、回答率は94.3%であった。患者調査票の回答率は2015年調査以降、96%前後から94%前後に低下した。この低下に、2015年に行った匿名化強化と紙媒体調査の廃止が影響した可能性がある。ただその後は95%前後を維持している。

対象施設の透析コンソールは145,821台、同時透析可能人数は143,737人、最大収容能力は475,335人であり、それぞれ2020年末と比較して、1.4%、1.4%、0.6%の増加であった（表1）。透析コンソール台数は、年々増加している（補足表1）。

表1 わが国の慢性透析療法の要約，2021

調査対象施設数		4,508 施設	(15 施設増 0.3%増)
回収施設数		4,454 施設	(17 施設増 0.4%増)
設備	透析コンソール台数	145,821 台	(2,049 台増 1.4%増)
	同時透析能力	143,737 人	(1,985 人増 1.4%増)
能力	最大収容能力	475,335 人	(2,804 人増 0.6%増)
	慢性透析患者	349,700 人	(2,029 人増 0.6%増)
※慢性透析患者の総数は、施設調査票 患者総数欄の合計であり、患者調査票より算出した透析歴別患者数の合計とは必ずしも一致しない。			
人口100万対比		2,786.4 人	(32.1 人増)
治療方法		通院	入院 合計
血液透析等	血液透析 (HD)	139,266 (43.5%)	21,254 (71.2%) 160,520 (45.9%)
	血液透析濾過 (HDF)	168,351 (52.6%)	8,250 (27.6%) 176,601 (50.5%)
	血液濾過 (HF)	20 (0.0%)	4 (0.0%) 24 (0.0%)
	血液吸着透析	1,264 (0.4%)	42 (0.1%) 1,306 (0.4%)
	在宅血液透析	747 (0.2%)	1 (0.0%) 748 (0.2%)
腹膜透析等	腹膜透析 (PD)	8,094 (2.5%)	277 (0.9%) 8,371 (2.4%)
	PD+週1回HD(F)等との併用	1,863 (0.6%)	30 (0.1%) 1,893 (0.5%)
	PD+週2回HD(F)等との併用	137 (0.0%)	1 (0.0%) 138 (0.0%)
	PD+週3回HD(F)等との併用	17 (0.0%)	8 (0.0%) 25 (0.0%)
	上記以外の併用	72 (0.0%)	2 (0.0%) 74 (0.0%)
小計		10,183 (3.2%)	318 (1.1%) 10,501 (3.0%)
2021年末透析患者総数		319,831 (100.0%)	29,869 (100.0%) 349,700 (100.0%)
2021年末透析患者のうち、夜間透析患者数		30,717 人	(751 人減)
2021年新規導入患者数	HD(F)等で新規導入	38,141 人	
	PDで新規導入	2,370 人	
	合計	40,511 人	(233 人減 0.6%減)
2021年透析患者死亡数		36,156 人	(1,742 人増 5.1%増)

(施設調査による集計)

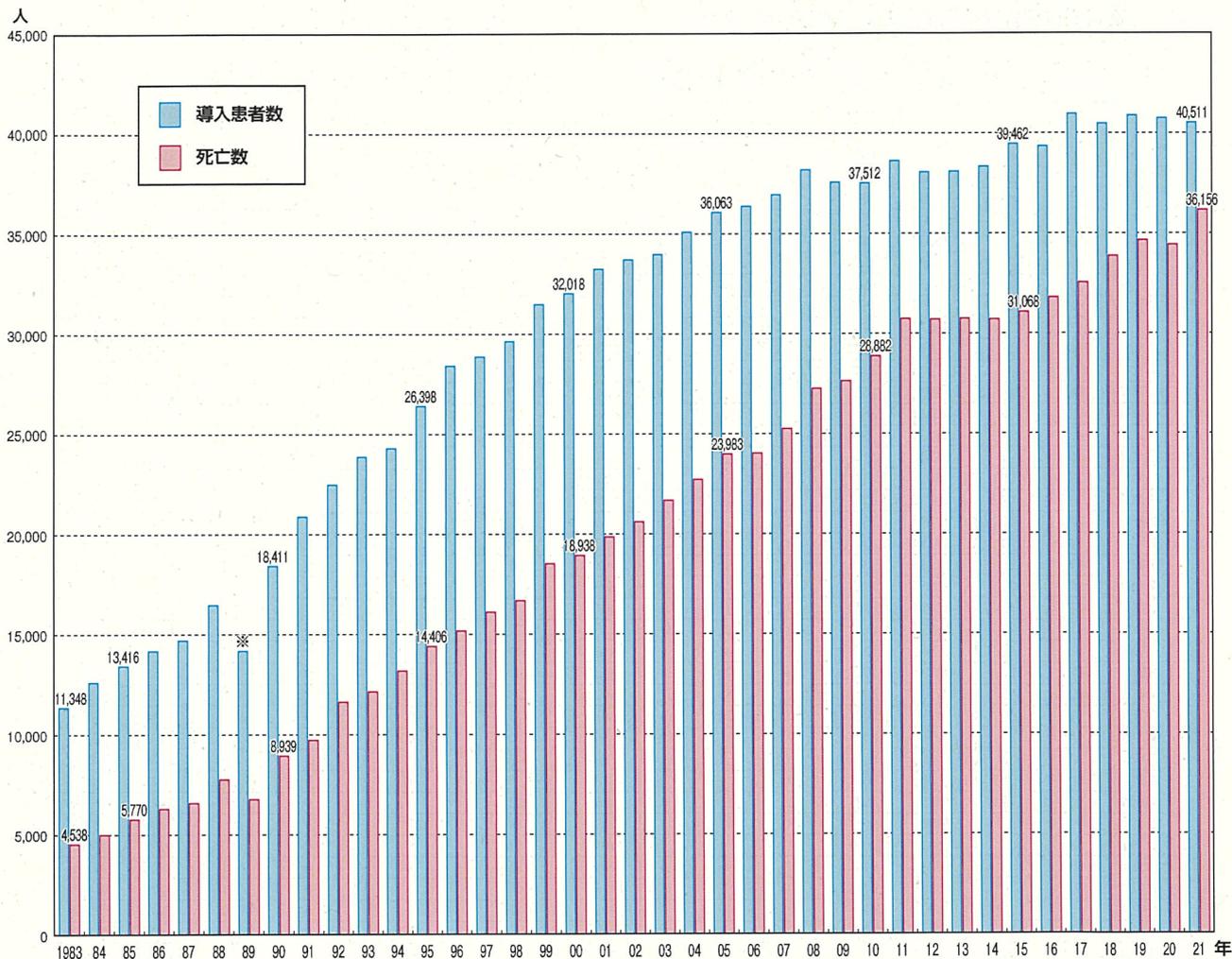


※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である  
人口100万対比は回収率86%で補正

図1 慢性透析患者数(1968-2021)と有病率(人口100万対比, 1983-2021)の推移 (施設調査による集計)

## 2. 患者動態

施設調査票に基づく2021年末慢性透析療法を受けている患者総数は349,700人であった。これは透析治療を受ける慢性腎臓病患者の有病数 (prevalence) を表している。透析患者数は年々増加傾向であったが、近年患者数の伸びが鈍化している。2021年は前年比2,029人増であった(図1, 補足表1)。2012年に中井ら<sup>7)</sup>により行われた透析患者数の将来予測では、2021年の約34万9千人をピークに患者数が減少すると予測されている。人口100万人あたりの透析患者数は有病率 (prevalence rate) を示す(図1, 補足表1)。この有病率は年々増加傾向であり、2021年は人口100万人あたり2,786.4人で、国民358.9人に1人が透析患者であることになる。2021年の米国腎臓データシステム (United State Renal Data System: USRDS) によれば、日本の透析患者の有病率は台湾に次いで世界2位である<sup>8)</sup>。



※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛けの影響である

図 2 導入患者数および死亡患者数の推移, 1983-2021

(施設調査による集計)

新規透析導入患者数は透析療法を受ける慢性腎臓病患者の罹病数 (incidence) を表している。この数は2008年までは毎年増加していたが、2009年以後は増減を繰り返している。2021年は40,511人で、2020年より233人減(0.6%減)であった(図2, 補足表2)。このうちHD(F)等での導入は94.1%, PDでの導入は5.9%であった(表1)。一方、各年の死亡患者数は年々漸増傾向である。2012年から2014年までは一旦ほぼ横ばいとなったが、2015年以降再び漸増傾向となった。2021年の死亡患者数は36,156人で、前年と比べ1,742人増(5.1%増)と大きく増加した(図2, 補足表2)。COVID-19感染やそれに伴う医療環境の変化が影響した可能性がある。一般的に、前年度の患者数に導入患者を加え、死亡患者を差し引いた数が当該年度の患者数と考えられる。しかし、移植による透析離脱患者が含まれないことや、導入患者数を過大評価したり死亡患者数を過小評価したりしている可能性があり、計算上の患者数と実際の患者数は一致しない。

都道府県別の透析患者数を表2に示す。表中の都道府県集計は、患者居住地ではなく施設所在地による集計であるため、厳密に都道府県別の患者動態を反映していないことに注意が必要である。有病率(人口100万人あたりの透析患者数)は、地域によりかなり異なる。これらの地域差には非常に多くの因子が複雑に交絡しているため、都道府県の比較は慎重に行われなければならない。

672

わが国の慢性透析療法の現況（2021年12月31日現在）

表2 都道府県別の透析患者数および治療形態，2021

都道府県名	調査対象施設数	施設調査票回収施設数	血液透析等						腹膜透析等				計	人口100万あたり患者数
			血液透析(HD)	血液透析濾過(HDF)	血液濾過(HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析(PD)	週1回のHD(F)等との併用	週2回のHD(F)等との併用	週3回のHD(F)等との併用	上記以外の併用		
北海道	262	258	6,814	8,680	0	89	8	462	98	3	0	7	16,161	3,118.1
青森県	41	41	947	2,538	0	7	3	117	18	1	0	1	3,632	2,974.6
岩手県	45	45	2,127	1,048	0	11	0	62	15	0	0	0	3,263	2,728.3
宮城県	67	67	3,398	2,561	0	12	8	196	21	2	2	1	6,201	2,707.9
秋田県	41	41	1,290	894	0	0	2	51	4	2	0	0	2,243	2,373.5
山形県	35	35	1,390	1,304	0	4	14	61	11	0	1	0	2,785	2,639.8
福島県	73	69	2,226	2,879	0	23	0	39	22	4	0	1	5,194	2,866.4
茨城県	85	85	5,052	3,385	0	47	19	67	12	0	0	1	8,583	3,009.5
栃木県	81	81	3,316	3,222	0	27	11	140	19	4	1	0	6,740	3,508.6
群馬県	64	64	3,569	2,662	2	5	13	96	19	1	0	0	6,367	3,304.1
埼玉県	198	196	6,857	12,272	1	51	72	356	102	8	0	1	19,720	2,686.6
千葉県	160	158	7,654	8,152	1	36	13	274	73	4	1	1	16,209	2,583.1
東京都	451	445	12,701	19,350	1	148	117	899	327	17	6	18	33,584	2,397.1
神奈川県	268	266	9,840	11,817	0	83	35	571	140	2	0	1	22,489	2,434.9
新潟県	53	53	3,202	1,861	1	21	3	156	24	1	0	1	5,270	2,420.8
富山県	42	42	1,625	840	0	11	3	90	15	0	0	0	2,584	2,521.0
石川県	42	41	1,528	1,156	0	18	5	51	7	1	0	2	2,768	2,460.4
福井県	27	25	856	842	0	0	3	52	13	0	0	0	1,766	2,323.7
山梨県	34	34	1,069	1,292	0	18	2	28	4	0	0	0	2,413	2,997.5
長野県	72	72	2,788	2,585	0	2	12	80	15	2	1	0	5,485	2,698.0
岐阜県	74	74	2,834	2,261	0	22	25	100	18	1	0	0	5,261	2,682.8
静岡県	131	130	3,974	7,320	0	20	24	167	24	3	0	0	11,532	3,196.2
愛知県	197	196	9,205	9,159	0	62	40	648	133	0	0	2	19,249	2,560.7
三重県	57	55	2,265	1,843	0	14	9	104	18	1	1	2	4,257	2,424.3
滋賀県	41	41	1,485	1,741	0	28	38	150	22	0	0	0	3,464	2,455.0
京都府	81	78	2,786	3,711	2	40	9	146	49	8	1	2	6,754	2,637.3
大阪府	327	322	9,379	14,005	3	129	53	469	107	7	0	6	24,158	2,743.4
兵庫県	202	199	6,743	7,323	1	82	57	181	28	5	2	1	14,423	2,655.2
奈良県	51	51	1,411	2,074	0	28	9	101	23	0	0	0	3,646	2,772.6
和歌山県	47	47	1,994	1,017	0	11	32	56	20	0	0	0	3,130	3,424.5
鳥取県	26	25	472	1,045	0	4	3	44	7	3	0	0	1,578	2,874.3
島根県	30	30	600	1,057	0	4	3	70	11	1	1	0	1,747	2,627.1
岡山県	64	64	2,325	2,855	0	28	6	225	32	4	0	0	5,475	2,918.4
広島県	99	97	3,484	4,050	7	35	22	243	58	27	4	0	7,930	2,852.5
山口県	58	56	1,603	2,000	4	4	1	107	24	8	0	0	3,751	2,824.5
徳島県	40	38	1,096	1,435	0	6	6	126	37	1	0	1	2,708	3,803.4
香川県	50	50	1,089	1,488	0	5	7	116	64	4	0	1	2,774	2,944.8
愛媛県	53	53	1,830	2,118	0	13	0	105	32	1	0	3	4,102	3,105.2
高知県	39	39	693	1,874	0	5	0	18	8	0	0	0	2,598	3,798.2
福岡県	200	196	8,301	6,612	0	39	20	687	52	0	1	1	15,713	3,066.5
佐賀県	37	37	1,639	970	0	12	3	41	10	2	0	0	2,677	3,321.3
長崎県	65	64	2,494	1,428	0	27	25	99	11	5	1	2	4,092	3,155.0
熊本県	93	92	4,047	2,386	0	25	4	102	26	0	0	6	6,596	3,817.1
大分県	69	67	2,656	1,281	0	12	4	86	36	3	1	1	4,080	3,662.5
宮崎県	65	64	2,703	1,223	0	11	0	50	6	0	0	3	3,996	3,766.3
鹿児島県	97	97	3,164	2,242	1	13	2	148	39	2	0	6	5,617	3,564.1
沖縄県	74	74	1,999	2,743	0	14	3	134	39	0	1	2	4,935	3,361.7
合計	4,508	4,454	160,520 (45.9)	176,601 (50.5)	24 (0.0)	1,306 (0.4)	748 (0.2)	8,371 (2.4)	1,893 (0.5)	138 (0.0)	25 (0.0)	74 (0.0)	349,700 (100.0)	2,786.5

(施設調査による集計)

## 3. 透析治療形態

2021年の透析治療方法の全体に占める各透析治療形態の割合は、血液透析（hemodialysis: HD）は45.9%、血液透析濾過（hemodiafiltration: HDF）は50.5%、血液濾過（hemofiltration: HF）は0.007%、血液吸着透析は0.4%、在宅血液透析（home hemodialysis: HHD）は0.2%、腹膜透析（peritoneal dialysis: PD）はHD併用を含めて3.0%であった（表1）。2012年の診療報酬の改定以降HDF患者数は急激に増加しており、2021年は176,601人に達した。HDF療法の内訳は、患者調査票でみると、On-line HDFが70.5%、次いでIHDFが28.3%となっており、前年同様の傾向を示した（図3、補足表3）。一方、PD患者数は10,501人と昨年の10,338人から増加し、そのうち20.3%がHD(F)との併用療法であった。HHDの患者数は748人と横ばいであった。PDとHHDを足したわが国の在宅透析の合計の比率は3.2%であり、これらは先進諸国の中では最も低い部類に入る<sup>8)</sup>。都道府県別の治療形態にもまた地域差を認めたが、医療事情などさまざまな因子による影響を受けると考えられる（表2）。

## 第2章 2021年慢性透析患者の動態

### 1. 臨床背景

2021年の患者調査票において、性別、年齢が記載されていた人数は336,179人であった。このうち男性は222,928人、女性は113,251人で、全体の平均年齢は69.67歳であった(図4、補足表4)。平均年齢は年々増加傾向を示している(図5、補足表5)、最も割合が高い年齢層は男女とも70~74歳であった。また65歳未満の患者数は2012年から減少し、70歳未満の患者数は2017年から減少している。つまり、わが国の慢性透析患者数の増加は、70歳以上の患者数の増加によるものであることが分かる(図6、補足表6)。

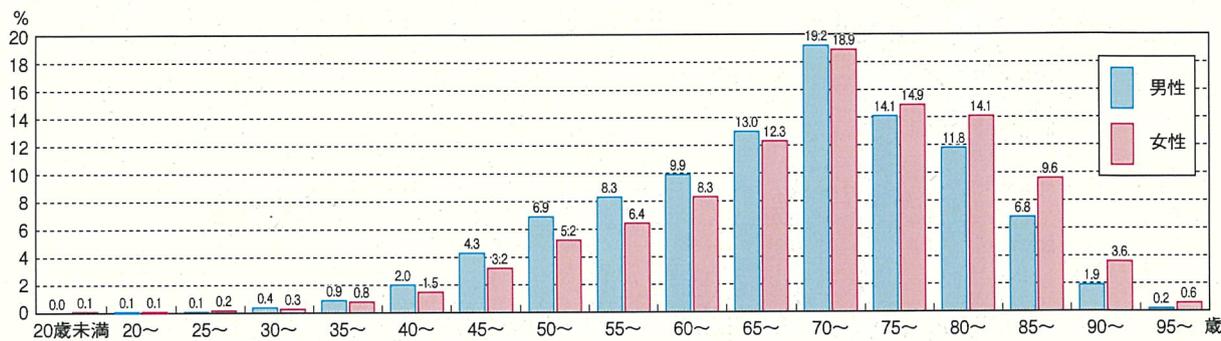


図4 慢性透析患者 年齢と性別, 2021 (患者調査による集計)

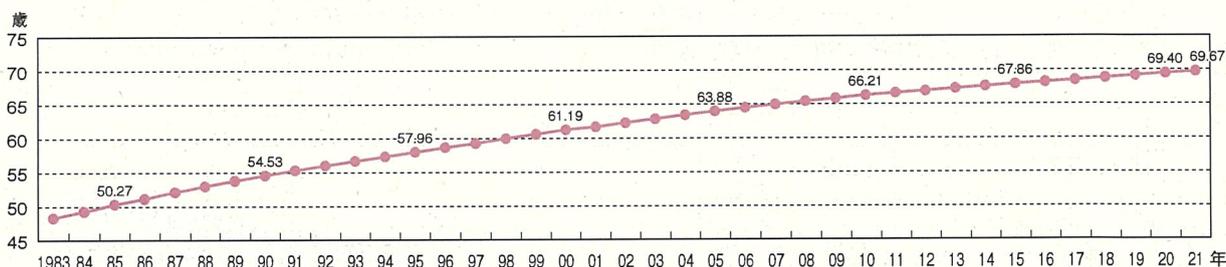


図5 慢性透析患者 平均年齢の推移, 1983-2021 (患者調査による集計)

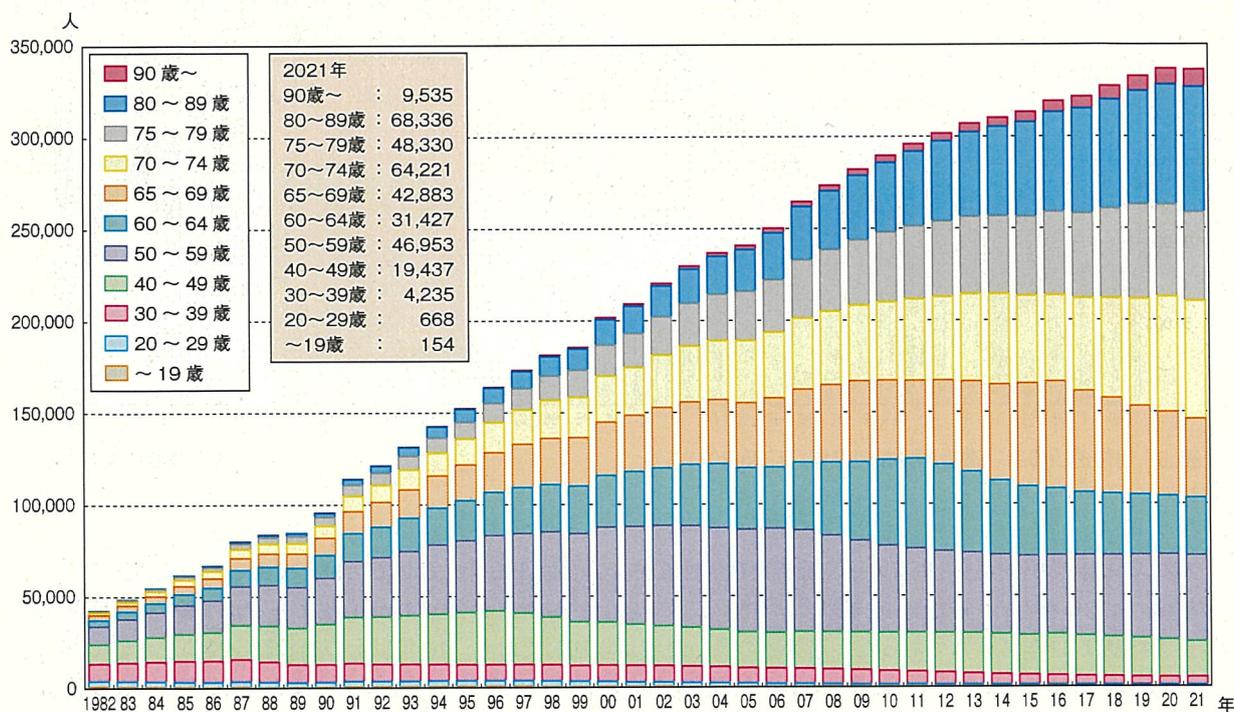


図6 慢性透析患者 年齢分布の推移, 1982-2021 (患者調査による集計)

わが国の慢性透析療法の現況 (2021年12月31日現在)

675

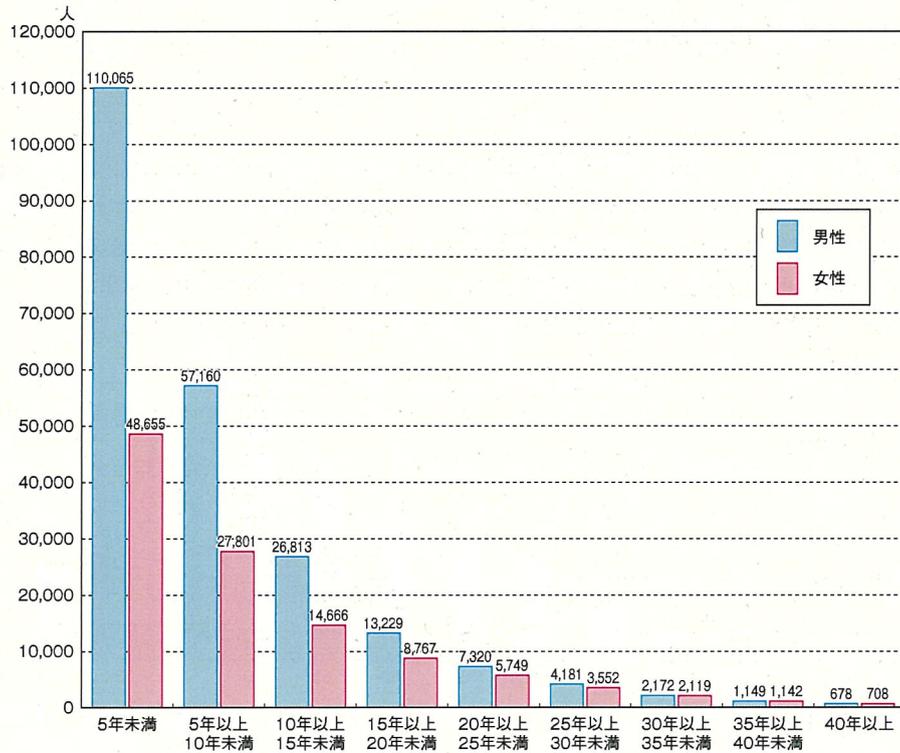


図7 慢性透析患者 透析歴と性別, 2021 (患者調査による集計)

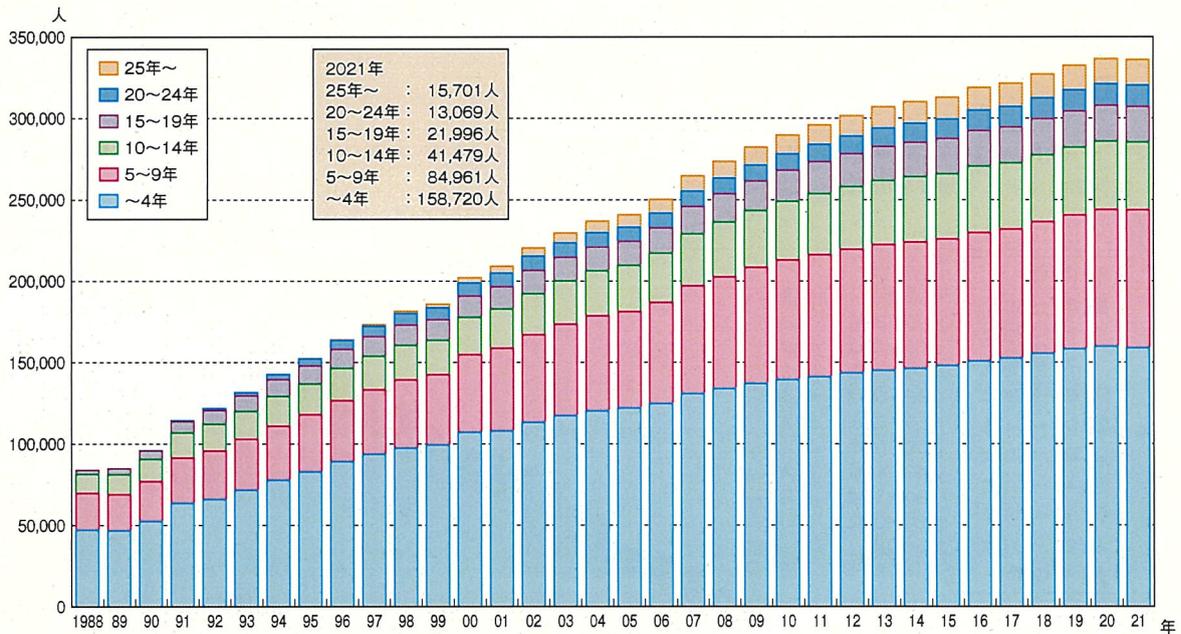


図8 慢性透析患者 透析歴分布の推移, 1988-2021 (患者調査による集計)

2021年末時点の慢性透析患者の平均透析歴は男性6.86年、女性8.45年、全体で7.40年であった。透析歴5年未満が全体の47.2%を占め、透析歴20年以上は8.6%、30年以上が2.4%、40年以上が0.4%であった(図7、補足表7)。最長透析歴は52年8ヵ月であった。透析歴の長い患者は増加しており、10年以上の透析歴を持つ患者が27.5%に達している。1992年末には1%に満たなかった透析歴20年以上の患者は、2021年末には8.6%に達している(図8、補足表8)。

### 第3章 2021年透析導入患者の動態

#### 1. 臨床背景

2021年の患者調査票において、年齢と性別の記載が確認された導入患者数は37,961人であった。男性は26,321人、女性は11,640人で、導入患者の平均年齢は全体が71.09歳、男性が70.38歳、女性が72.71歳であった(図16, 補足表17)。導入患者の平均年齢も慢性透析患者と同様、年々高齢化している(図17, 補足表18)。最も割合が高い年齢層は、男性が70~74歳で、女性は80~84歳であった。

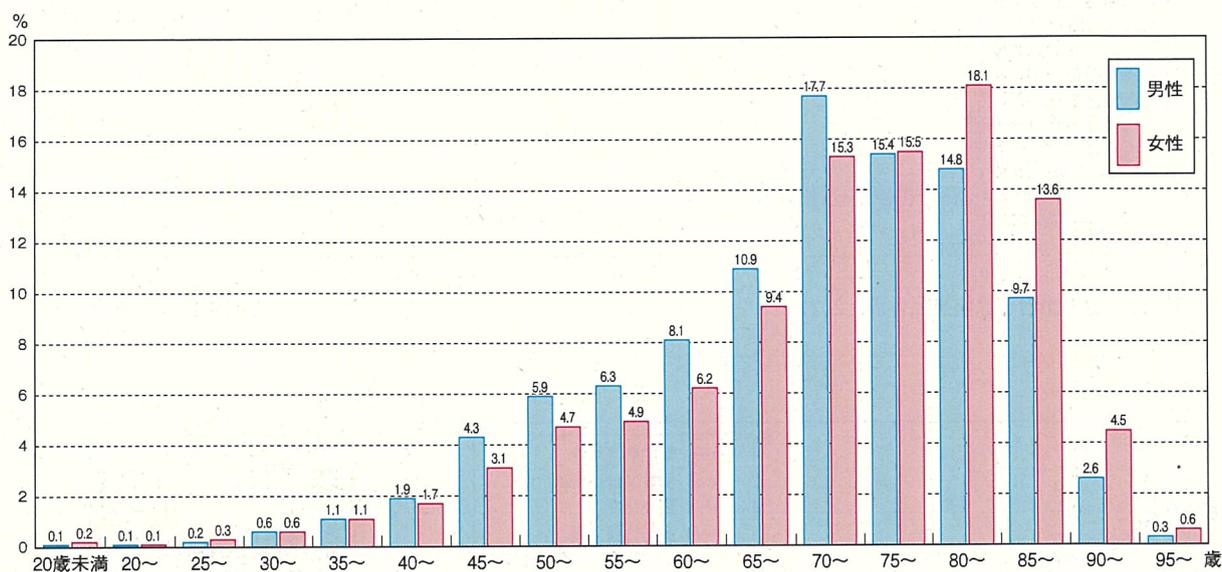


図16 導入患者 年齢と性別, 2021 (患者調査による集計)

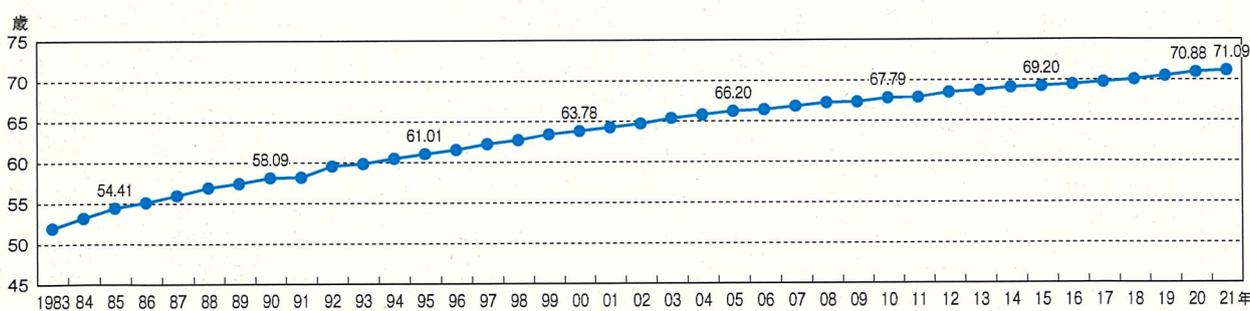


図17 導入患者 平均年齢の推移, 1983-2021 (患者調査による集計)

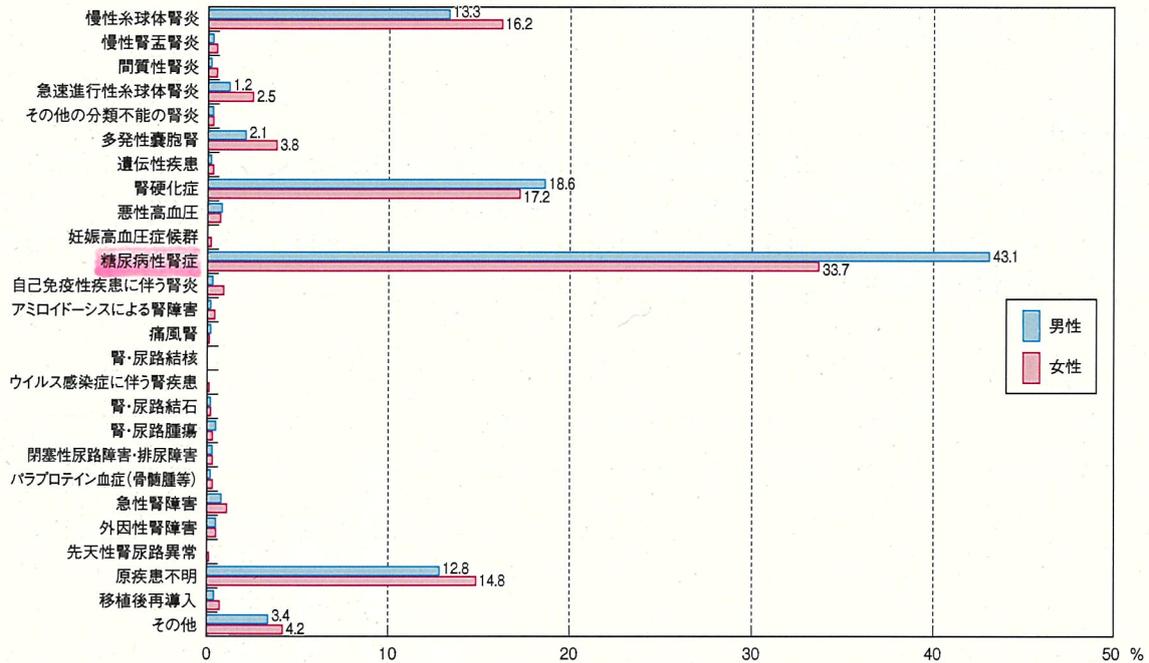


図 18 導入患者 原疾患と性別, 2021

(患者調査による集計)

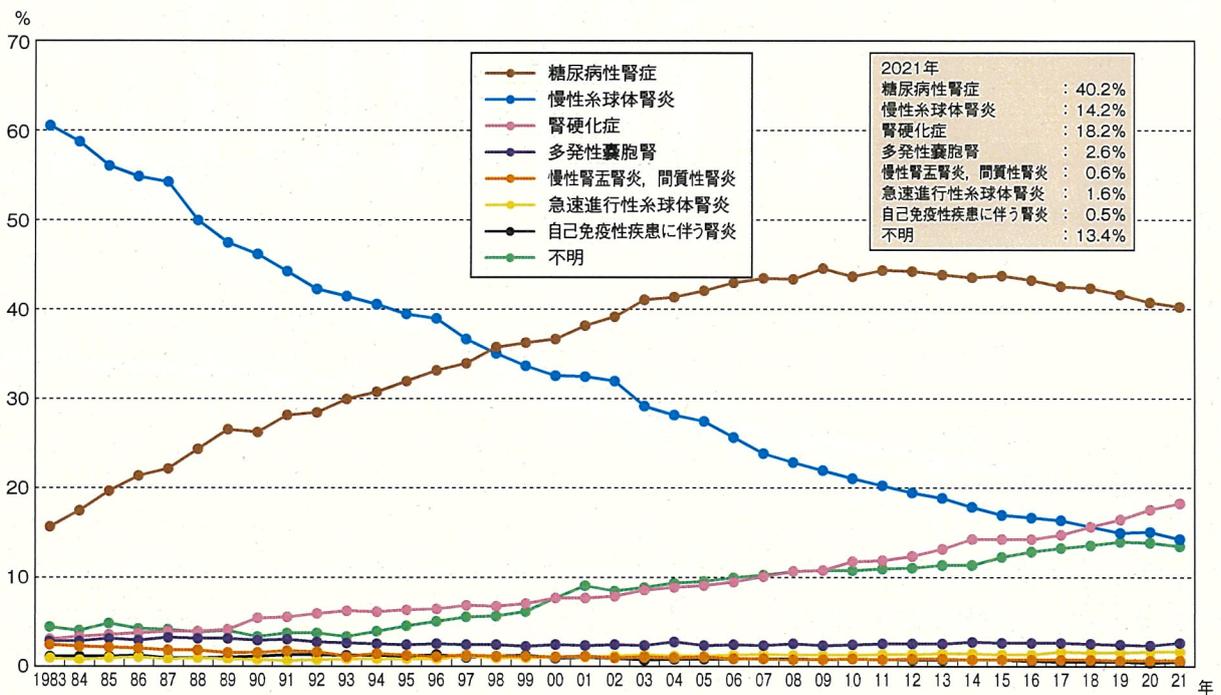


図 19 導入患者 原疾患割合の推移, 1983-2021

(患者調査による集計)

2021年導入患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症で40.2%、次いで腎硬化症の18.2%、慢性糸球体腎炎の14.2%であり、2019年に腎硬化症が慢性糸球体腎炎に代わって第2位となって以降も、腎硬化症の持続的な増加が目立つ。原疾患不明は13.4%であった(図18, 補足表19)。導入患者の原疾患は、1998年に慢性糸球体腎炎に代わって糖尿病性腎症が原疾患の第1位になって以来、一貫して増加していたが、近年は慢性糸球体腎炎と同様に減少傾向である(図19, 補足表20)。

## 補足表

補足表1 慢性透析患者数 (1968-2021) と有病率 (人口100万対比, 1983-2021) および透析コンソール台数 (1966-2021) の推移

		※4月		★8月																							
年	1966 /12	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982											
透析コンソール台数	48	105★	206★	606	1,575	3,022	4,986	5,515	7,246	9,204	10,545	12,569	16,519	18,963	21,032	22,939											
慢性透析患者数	-	215※	301※	949	1,826	3,631	6,148	9,245	13,059	18,010	22,579	27,048	32,331	36,397	42,223	47,978											
年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999										
透析コンソール台数	24,474	26,558	28,715	30,846	33,527	36,447	34,099	40,723	45,682	49,650	53,262	58,561	59,715	63,742	66,880	69,733	75,448										
慢性透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213										
人口100万人対患者数	443.7	497.5	547.8	604.4	658.8	721.1	790.0	835.7	937.6	995.8	1,076.4	1,149.4	1,229.7	1,328.4	1,394.9	1,465.2	1,556.7										
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016										
透析コンソール台数	79,709	83,914	89,070	92,710	97,366	100,552	104,382	108,583	111,998	114,979	118,622	121,863	125,003	128,150	131,555	133,538	135,211										
慢性透析患者数	206,134	219,183	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609										
人口100万人対患者数	1,624.1	1,721.9	1,801.2	1,862.7	1,943.5	2,017.6	2,069.9	2,154.2	2,219.6	2,279.5	2,329.1	2,385.4	2,431.1	2,470.1	2,521.6	2,557.0	2,596.7										
年	2017	2018	2019	2020	2021																						
透析コンソール台数	137,248	139,887	141,520	143,772	145,821																						
慢性透析患者数	334,505	339,841	344,640	347,671	349,700																						
人口100万人対患者数	2,640.0	2,687.7	2,731.6	2,754.3	2,786.4																						

(施設調査による集計)

補足表2 導入患者数と死亡患者数および慢性透析患者数の推移, 1983-2021

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999										
年間導入患者数	11,348	12,606	13,416	14,175	14,699	16,470	14,174	18,411	20,877	22,475	23,874	24,296	26,398	28,409	28,870	29,641	31,483										
年間死亡患者数	4,538	5,000	5,770	6,296	6,581	7,765	6,766	8,939	9,722	11,621	12,143	13,187	14,406	15,174	16,102	16,687	18,524										
慢性透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213										
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016										
年間導入患者数	32,018	33,243	33,710	33,966	35,084	36,063	36,373	36,934	38,180	37,566	37,512	38,613	38,055	38,095	38,327	39,462	39,344										
年間死亡患者数	18,938	19,850	20,614	21,672	22,715	23,983	24,034	25,253	27,266	27,646	28,882	30,743	30,710	30,751	30,707	31,068	31,790										
慢性透析患者数	206,134	219,183	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609										
年	2017	2018	2019	2020	2021																						
年間導入患者数	40,959	40,468	40,885	40,744	40,511																						
年間死亡患者数	32,532	33,863	34,642	34,414	36,156																						
慢性透析患者数	334,505	339,841	344,640	347,671	349,700																						

(施設調査による集計)

## わが国の慢性透析療法の現況 (2021年12月31日現在)

701

補足表3 HD・HDF患者数の推移, 2009-2021

治療方法	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
施設血液透析	253,807	262,973	270,072	268,275	264,211	255,641	248,725	233,704	218,760	194,479	180,111	165,336	153,564
On-line HDF (%)	6,852 (40.7)	4,829 (32.5)	4,890 (34.6)	14,069 (64.8)	23,536 (75.0)	36,090 (83.4)	44,527 (82.8)	59,116 (79.0)	70,604 (76.8)	86,231 (70.9)	98,934 (70.3)	111,609 (70.0)	120,316 (70.5)
Off-line HDF (%)	9,299 (55.2)	9,421 (63.4)	8,573 (60.7)	7,157 (32.9)	7,149 (22.8)	6,315 (14.6)	5,332 (9.9)	4,637 (6.2)	3,961 (4.3)	3,514 (2.9)	2,913 (2.1)	2,355 (1.5)	1,938 (1.1)
Push/Pull HDF (%)	237 (1.4)	159 (1.1)	145 (1.0)	109 (0.5)	263 (0.8)	537 (1.2)	110 (0.2)	66 (0.1)	36 (0.0)	45 (0.0)	36 (0.0)	138 (0.1)	16 (0.0)
AFBF (%)	465 (2.8)	458 (3.1)	507 (3.6)	390 (1.8)	423 (1.3)	341 (0.8)	267 (0.5)	252 (0.3)	242 (0.3)	163 (0.1)	150 (0.1)	133 (0.1)	107 (0.1)
IHDF (%)							3,540 (6.6)	10,728 (14.3)	17,105 (18.6)	31,681 (26.0)	38,697 (27.5)	45,162 (28.3)	48,180 (28.3)
HDF 合計 (%)	16,853 (100.0)	14,867 (100.0)	14,115 (100.0)	21,725 (100.0)	31,371 (100.0)	43,283 (100.0)	53,776 (100.0)	74,799 (100.0)	91,948 (100.0)	121,634 (100.0)	140,730 (100.0)	159,397 (100.0)	170,557 (100.0)
HD・HDF 合計	270,660	277,840	284,187	290,000	295,582	298,924	302,501	308,503	310,708	316,113	320,841	324,733	324,121

(患者調査による集計)

補足表4 慢性透析患者 年齢と性別, 2021

年齢	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5歳未満	22 (0.0)	29 (0.0)	51 (0.0)	0	51 (0.0)
5歳～	15 (0.0)	13 (0.0)	28 (0.0)	0	28 (0.0)
10歳～	14 (0.0)	10 (0.0)	24 (0.0)	0	24 (0.0)
15歳～	35 (0.0)	16 (0.0)	51 (0.0)	0	51 (0.0)
20歳～	117 (0.1)	69 (0.1)	186 (0.1)	0	186 (0.1)
25歳～	311 (0.1)	171 (0.2)	482 (0.1)	0	482 (0.1)
30歳～	886 (0.4)	371 (0.3)	1,257 (0.4)	0	1,257 (0.4)
35歳～	2,100 (0.9)	878 (0.8)	2,978 (0.9)	0	2,978 (0.9)
40歳～	4,414 (2.0)	1,743 (1.5)	6,157 (1.8)	0	6,157 (1.8)
45歳～	9,663 (4.3)	3,617 (3.2)	13,280 (4.0)	0	13,280 (4.0)
50歳～	15,399 (6.9)	5,909 (5.2)	21,308 (6.3)	0	21,308 (6.3)
55歳～	18,425 (8.3)	7,220 (6.4)	25,645 (7.6)	0	25,645 (7.6)
60歳～	22,009 (9.9)	9,418 (8.3)	31,427 (9.3)	0	31,427 (9.3)
65歳～	28,935 (13.0)	13,948 (12.3)	42,883 (12.8)	0	42,883 (12.8)
70歳～	42,769 (19.2)	21,452 (18.9)	64,221 (19.1)	0	64,221 (19.1)
75歳～	31,475 (14.1)	16,855 (14.9)	48,330 (14.4)	0	48,330 (14.4)
80歳～	26,285 (11.8)	15,948 (14.1)	42,233 (12.6)	0	42,233 (12.6)
85歳～	15,215 (6.8)	10,888 (9.6)	26,103 (7.8)	0	26,103 (7.8)
90歳～	4,304 (1.9)	4,039 (3.6)	8,343 (2.5)	0	8,343 (2.5)
95歳～	535 (0.2)	657 (0.6)	1,192 (0.4)	0	1,192 (0.4)
合計	222,928 (100.0)	113,251 (100.0)	336,179 (100.0)	0	336,179 (100.0)
不明	2	1	3	0	3
記載なし	0	0	0	0	0
総計	222,930	113,252	336,182	0	336,182
平均	68.87	71.25	69.67		69.67
標準偏差	12.48	12.53	12.54		12.54

(患者調査による集計)

補足表5 慢性透析患者 平均年齢の推移, 1983-2021

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
慢性透析患者 平均年齢	48.25	49.22	50.27	51.11	52.08	52.95	53.75	54.53	55.29	55.98	56.65	57.31	57.96	58.63	59.23	59.93	60.55	61.19	61.60	62.19
年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
慢性透析患者 平均年齢	62.75	63.32	63.88	64.38	64.87	65.33	65.76	66.21	66.55	66.87	67.21	67.54	67.86	68.15	68.43	68.75	69.09	69.40	69.67	

(患者調査による集計)